

もうひとつの鋸山（のこぎりやま）

9 期 吉田洋次郎

昭和 46 年に結婚して千葉県に住むようになってまもなく 50 年になります。

酒の席などの話題で「千葉県で一番高い山は？」と尋ねると、多くの人が“鋸山”と答えます。でも残念ですが、外れです。正解は“愛宕山（あたごやま）”です。と言っても房総半島には愛宕山が 3 座あります。

銚子市内には標高 74 メートルの丘（山頂には「地球の丸く見える丘展望台」があり、屋上に設置されている方位盤には南西の方向に“フィリピン”も刻まれている。ひょっとすると晴れた日には見えるかも？）、富津市内にある愛宕山は 204 メートルです。ニホンザルを飼育する「自然動物園」があります。

南房総市嶺岡山地の愛宕山が 408 メートルで千葉県一の高さです。因みに愛宕山は日本で一番低い都道府県別の最高峰です。この山があまり知られていないのは航空自衛隊の基地内にあるので事前に申請しないと登れないからです。また、頂上からの眺望もあまりよくないようです。

でも、訪問者には「千葉県最高峰登頂記念証」が頂けるとのことです。

鋸山は標高 329 メートルですから愛宕山には約 80 メートル及びません。

鋸山は JR 内房線の駅に近く、登山ルートは 5 つあってどのルートも 3～4 時間で登れます。またロープウェイでも登れるため多くの観光客が訪れ、知名度が高いのです。眼下に東京湾が一望でき、天気の良い日にはもちろん富士山も眺められます。



【鋸山のロープウェイ】

さて、表題の「もうひとつの鋸山」ですが、スペインのバルセロナの近くにモンセラートという山があります。日本語に訳すと“のこぎり山”です。多くの奇岩が連なった岩山の連山で最高峰は 1,236 メートルです。



【モンセラート】

バルセロナからはカタルーニャ鉄道とロープウェイ（または登山鉄道で）を乗り継いで約 1 時間です。ゆっくり見学を楽しんでも十分日帰りが可能です。

天気が良い日には北の方向にピレネー山脈（その先はフランスです）を望むことができます。

また世界遺産で有名なバルセロナで建設されているサグラダ・ファミリア（聖家族教会）の設計者アントニオ・ガウディがその作品に大きく影響を受けた山としても知られています。



【モンセラート修道院】

その中腹あたりに 9 世紀に建てられた修道院があります。そこに祭られているのは幼児を膝に抱き右手に大きな球を持つ聖母マリア像です。このマリア像は肌が黒いので“黒いマリア像”と呼ばれています。

数年前、私の妻の病気が再発し三度目の手術をすることになりました。担当医からかなり難しい手術で後遺症が出る恐れがあり、最悪の場合歩行できなくなるとの説明を受けとても悩みました。



【黒いマリア像】

当時スペインに住んでいた娘が「モンセラート修道院の黒いマリア像が持つ“球”に触れて祈るとお願いことが叶うと言われている」という話を教えてくれました。

藁にもすがる思いで私は妻とモンセラート修道院を訪れました。内部に入ると正面の小高いところにマリア像が祭られていました。薄暗い階段を上りマリア像の持つ球に触れて妻の手術が成功し、健康が快復することを願いました。



【モンセラートにて】

帰国後、妻は十時間以上に及ぶ手術に耐えました。術後はしばらくの間歩行も困難でしたが、リハビリを続けたところ幸いにも今では両手で杖

を突きながらかなり歩けるようになりました。

もし、機会があれば再びモンセラートを訪れて黒いマリア像にお礼をしたいと思っています。

